

ドローンがみた、



おぐにの風景 No.52



⑤2 幸町地区

幸町は町内の住宅不足を解消するとともに、過疎化が進んだ小規模集落の移転を促すため、昭和45年に完成した団地で、宅地のほか公営住宅やコミュニティセンター、児童遊園などが整備されました。「幸町」という町名は一般募集され、142点の応募のなかから選ばれました。

完成した団地には冬期間の生活や医療・教育の安定的な確保などを目指し、集団移転した滝地区や上大石沢地区（豆納、赤沢、高野）のかたがたが移り住み、新たな生活をスタートさせました。